

育英会だより

発行所
財団法人 漁船海難遺児育英会
〒101-0047 東京都千代田区
内神田2丁目2番5号
光正ビル6階
電話 03 (3256) 1981
FAX 03 (3256) 1982
E-mail: mizuho.ikuei@cos.ocn.ne.jp
水色の羽根募金運動

2011年度 第2回評議員会・理事会

9月6日、『2011年度第2回評議員会および理事会』が東京・千代田区のコープビルで開催されました。

会議では、①辞任に伴う理事および評議員の補欠選任について、②新制度に基づく「定款の変更案」を変更する件について、③新制度に基づく公益財団法人への移行認定申請書類の確認についてなどが審議され、いずれも全員異議なく承認可決されました。

議案①において新たに選任された理事・評議員のかたがたは次のとおりです。今回をもって退任された皆さまには、これまでの尽力に心より感謝し、お礼申し上げます。

【新任者】芳名

▽理事―重義行氏(大日本水産会専務理事)、奥和登氏(農林中央金庫常務理事)、岡本リセ子氏(JF全国女性連会長)、露木昌仙氏(全国連合小学校長会会長)、大江近氏(全日本中学校長会会長)
▽評議員―赤石憲二氏(JF青森漁連会長)、菊地伸悦氏(JFみやぎ経営管理委員会会長)、一杉雄二氏(JF神奈川信漁連会長)、糠善次氏(JF和歌山漁連会長)、溝口吉治氏(JF宮崎信漁連会

長)、草場淳吉氏(JF佐賀有明海組会長)、黒田浩利氏(全国都道府県教育委員会連合会事務局長)

▲挨拶をする鈴木理事長

※順不同



なお、理事会に先立ち、鈴木俊一理事長が挨拶を行い、「東日本大震災発生から6カ月近く経過したが、被災地ではいまだ行方不明者の捜索、ガレキ処理などさまざまな課題が山積みとなっている状況にある。本会においては、大津波で犠牲となった漁業者のご遺族に対し、漁連・漁協等を通じて育英制度の利用を呼び掛けているところであるが、地域によっては漁協の機能が回復していない所もあり、遺児・遺族の確認ができていない状況にある。被災地の一日も早い復興を願うとともに、遺された子供たちのため、本会としてできる限りの支援を行っていききたい」と述べました。

第6回マリノカップ 海難遺児チャリティコンペ

去る7月23日、『第6回マリノカップ 海難遺児チャリティコンペ』が、今年も三重県・津カントリ倶楽部にて開催されました。

NPO法人「朝光クラブ」(代表・朝香誠彦理事長)が主催するこの大会は、海の事故で父兄を亡くした子供たちを応援しようと、毎年「海の日」を記念し行われています。6年目を迎えた今年は東日本大震災被災地復興支援も兼ねたものとなり、この趣旨に賛同したTCC(津カントリー倶楽部)メンバーはじめ178人ものゴルフアークが、プレーに参加されました。

また、夏休みの特別企画として、会場には地元小学校と特別支援学校の子供たち計100人が招待され、鳥羽水族館・古田正美館長による環境教育と魚をテーマとしたトークショーや津高虎太鼓「津打の会」の演奏などを楽しみました。お昼には、JF三重漁連ならびに三重県漁協女性部連合会の皆さん(計20人)手作りの郷土漁師料理も振る舞われ、大会は大盛況のうちに幕を閉じました。



(写真提供 津カントリー倶楽部)

全水商連第58回全国大会

9月18日、リーガロイヤルホテル大阪(大阪市)において、全国各地の水産物小売商関係者約680人が一同に会し、『全水商連第58回全国(大阪)大会』(全国水産物商業協同組合連合会主催)が盛大に開催されました。

当日は、主催者側のご厚意のもと、大会開演前に募金活動が実施され、地元・大阪市立扇町総合高等学校吹奏楽部・OHGIESの皆さん(森長顧問ほか生徒5人)や本会事務担当窓口であるJF大阪漁連の方とともに、会場入口にて「水色の羽根募金」を呼び掛けました。午後には、皆さまから寄せられた募金の贈呈式が行われ、本会理事長に代わり、藤田泰寛JF大阪漁連専務理事より永井良和全国水産物商業協同組合連合会会長へ感謝状が贈られました。ご支援いただきました多くの皆さまに心より感謝申し上げます。



▲永井会長も募金にご協力くださいました。

JF沖縄漁連 第19回チャリティーゴルフ大会



▲國吉会長(右)より目録を受け取る佐藤専務(左)

9月22日、JF沖縄漁連主催による「チャリティーゴルフ大会」が、恩納村の沖縄国際ゴルフ倶楽部にて開催されました。

本大会は海難等事故により犠牲となられた漁業者の子供たちが将来社会に貢献できる人材に成長してくれることを願い、本会育英事業を支援する全国的な資金造成活動の一環として、沖縄県漁協参事会を中心に、県下JFグループならびに水産諸団体ご協力のもと毎年実施されており、今年で19回目を迎えられます。

当日、プレー後に行われた表彰式では、約420人の参加者前に、國吉真孝同漁連会長から大会収益金の贈呈を受けた佐藤信三本会専務理事は、お礼の言葉とともに「先の大震災で被災された漁業者の遺児・遺族のために本会としてできる限りの支援を行っていかねければと考えている。今後事業の充実に一層努力するとともに海難事故防止を強く訴えていきたい」と決意を述べました。ご支援いただきました多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

10月は、全国漁船安全操業月間です

【推進月間の目的】

- ①漁船安全操業に関する漁業者意識の向上
- ②ライフジャケット着用率向上による事故発生率の減少
- ③安全操業の徹底による漁船海難発生率の減少

着よう 着せよう ライフジャケット



漁業者の大切な命と家族の笑顔を守るため、漁へ出る時は必ずライフジャケットを着用しよう、浜のみんなで声を掛け合いましょう！

2011年度
第2回奨学生選考委員会

7月28日、『2011年度第2回奨学生選考委員会』が開催され、「第2回奨学生出願者(7月15日締切)の選考」について審議されました。この結果、学資給与奨学生として、幼児3人、小学生2人、中学生1人、高校生等1人の合計7人が採用されました。なお、前年度からの継続奨学生と併せて、新規奨学生を加えた9月15日現在の奨学生数は、別表「都道府県別奨学生数」のとおりです。

お知らせ

ゆび募金(募金型自動販売機)による
2011年8月末までの寄付金累計額は
344,242円です。
ご協力ありがとうございました。

※ゆび募金に関するお問い合わせは事務局まで



育英基金

『募金・ご寄付』のお礼

2011年6月から2011年8月までにご寄付を頂いた皆さまのご芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。

※ご芳名(敬称略)

1、漁協系統募金(各都道府県の漁連、信漁連等で構成する「漁船海難遺児を励ます地方協議会(略

称・地方協)」等を取り扱った分で、一般寄付を含みます。)

〔6月〕◎兵庫県▽JFマリンバンクひょうご貯蓄推進キャンペーン(スプリングキャンペーン)11

―新規定期貯金預入金額の一部▽第61回浅海増殖研究発表全国大会募金▽地方協◎山口県▽荒川正治

〔7月〕◎岩手県▽加島工業協力会▽宮古水産高等学校水産物有効利用班・南すがた▽内丸第一町内会◎茨城県▽菅原建設㈱◎静岡県▽NPO丸子わいわい会議▽初島漁協婦人部▽用宗漁港まつり実行委員会▽地方協◎三重県▽NPO法人朝光クラブ―第6回マリン

カップ海難遺児チャリティコンベンツ◎山口県▽岡村武史◎佐賀県▽佐賀県漁協女性部連合会―創立50周年記念大会募金◎長崎県▽橋口和久▽大坪国明▽長崎大学海洋祭実行委員会▽地方協◎宮崎県▽九州地区漁港漁場大会募金

〔8月〕◎北海道▽佐藤雅博―香料の一部▽「最北端・食マルシェ」イベント募金◎青森県▽植村正治◎岩手県▽山田町水産加工業協同組合―解散による◎福島県▽吉田成志◎山口県▽宮崎達弥―香典返し▽地方協◎香川県▽風の港まつり実行委員会◎長崎県▽長崎県漁連職員OBなぎさ会▽地方協

2、一般寄付

〔6月〕◎北海道▽高木幾代◎青森県▽大山チセ◎山形県▽遊佐町役場産業課水産林業係◎埼玉県▽小野沢通◎千葉県▽飯村久子◎東京都▽石崎三輪子◎神奈川県▽中冷▽山中政志◎山梨県▽佐藤一江◎三重県▽やさべん◎奈良県▽辻元正夫◎鳥取県▽浜野茂夫◎広島県▽広島海難物故者供養式実行

◎鹿児島県▽鹿児島県海難遺児会◎熊本県▽南九州ビバレッ

委員会◎熊本県▽南九州ビバレッ

委員会◎熊本県▽南九州ビバレッ

奨学生未申請者はいませんか?

皆さまのまわりに、海難遺児でいまだ奨学生の申請をされていない方はいらっしゃいませんか?もし、地域にそのような方がおられましたら、本会またはもよりのJF漁連等窓口へ至急お知らせください。

その他お問い合わせは本会(03・3256・1981)まで。
※東日本大震災による大津波で死亡・行方不明となられた漁業従事者および漁船等海難救助協力者のお子さんも対象となります。

〔7月〕◎埼玉県▽小野沢通◎千葉県▽佐原芳隆▽飯村久子◎東京都▽榎本みづ枝◎鳥取県▽浜野茂夫◎山口県▽浦部久幸◎水産大学校同窓会滄溟会―東日本大震災遺児育英資金として◎熊本県▽南九州ビバレッ◎鹿児島県▽富元小松◎その他▽故・長尾文夫―遺贈金

〔8月〕◎岩手県▽三陸沿岸芸能振興会◎宮城県▽宮城県秋刀魚漁撈通信協会―全日海東北地方支部

經由◎埼玉県▽小野沢通◎富元克昌◎千葉県▽飯村久子◎東京都▽梶浦富子▽大須賀順▽東京築地中央市場福祉報徳会◎潮待茶屋企業組合/買荷保管企業組合―報徳会

締役社長蓮沼俊一▽鳥谷尾好子―亡きご主人の遺言による◎鳥取県▽浜野茂夫◎熊本県▽南九州ビバレッ◎鹿児島県▽富元小松

◎鹿児島県▽富元小松

編集後記

▼(財)漁船海難遺児育英会は、新公益法人制度に基づく公益財団法人への移行認定を受けるべく、去る9月29日に内閣総理大臣あてに公益財団法人への移行認定申請を行いました。

昨年5月に移行認定申請に向けての基本方針を決定して以来、数回にわたる理事会、評議員会および最初の評議員選定委員会において、最初の評議員の選任、定款の変更案の作成および移行認定申請

書類等の承認を得て、申請を行うものであります。

なお、申請後は、公益認定等委員会事務局とのヒアリングを数カ月間行う予定となっております。

▼台風がもたらした記録的な大雨により被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。今年は異常気象が続く、自然の驚異をまざまざと見せつけられているような気がしてなりません。今は、これ以上災害が続かないよう、ただただ天に祈るばかりです。

なお、災害等の影響で、奨学金



都道府県名	給 与 奨 学 生					貸与奨学生	合計	2011年度第2回採用者					合計
	幼児	小学生	中学生	高校生等	小計	大学生等		幼 児	小学生	中学生	高校生等	大学生等	
北海道	2	5	12	16	35	3	38						
青森		3	4	4	11	1	12						
岩手		3	1	1	5		5						
宮城		7	4	6	17		17		2				2
秋田													
山形			1		1		1						
福島	3	5	2	2	12		12	2					2
茨城				1	1		1						
千葉	1	3	3	4	11	2	13						
東京			1	2	3	1	4						
神奈川	1	2	1	1	5								
新潟		2		1	3		3						
富山													
石川		2	2		4		4						
静岡				3	3	2	5						
愛知													
福井			1	1	2		2						
三重													
京都			1		1		1						
大阪				1	1	1	2						
兵庫			4	3	7	2	9						
和歌山													
鳥取		1			1		1						
島根			1	2	3		3						
岡山		1	1		2		2						
広島		1		1	2		2						
山口		1	3	1	5	1	6						
徳島			1	2	3	2	5						
香川		1	2		3		3						
愛媛		1	4	6	11		11						
高知				2	2	1	3						
福岡		1	2	1	4		4						
福岡有明海		2	1		3		3						
佐賀玄海		5			5		5						
佐賀有明海				1	1		1						
長崎	2	7	3	7	19	1	20	1		1	1		3
大分			1	2	3		3						
熊本	1	3		2	6	1	7						
宮崎		2	2	1	5	1	6						
鹿児島	1	5	2	2	10		10						
沖縄		1	4	2	7	3	10						
合計	11	64	64	78	217	22	239	3	2	1	1		

*給与奨学生の高校生等には特別支援学生を含む。
*貸与奨学生には入学一時金のみの奨学生を含む。
*休学中の奨学生は人数に含まない。
*2011年度第2回採用者は内数である。